



今日のトピック 中国の8月の主要経済指標は予想を上回るも力強さを欠く
不動産市場が引き続き低迷、景気は当面停滞が続く

ポイント1 8月の主要指標は市場予想を上回る

- 中国国家统计局は16日、8月の主要経済指標を発表しました。鉱工業生産は前年同月比+4.2%となり、7月の+3.8%から伸び率が拡大しました。小売売上高も前年同月比+5.4%と、7月の+2.7%から伸びが加速しました。また、1~8月の固定資産投資は前年同期比+5.8%と、1~7月の+5.7%からわずかに改善しました。
- 主要指標はいずれも市場予想をやや上回り、前月から持ち直しました。しかし、特に小売売上高は、昨年8月の新型コロナウイルスの防疫措置強化による反動で、ベース効果の影響が大きかったとみられます。

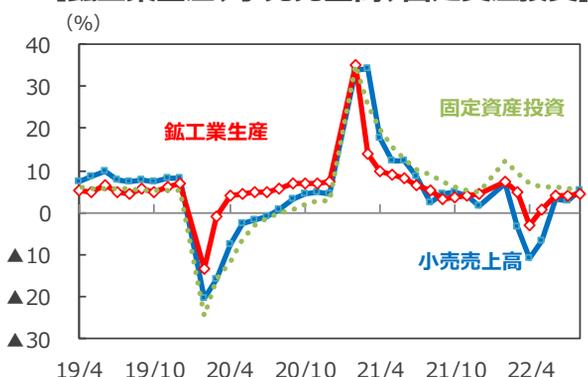
ポイント2 不動産市場は引き続き低迷

- 一方、同日発表された8月の主要70都市のデータに基づく新築住宅価格は前月比▲0.29%と、7月の▲0.11%から下げ幅が拡大し、12カ月連続で下落しました。不動産開発投資（1~8月）も前年同期比▲7.4%と、前月の▲6.4%から下げ幅が拡大しました。建設が止まったマンションで購入者が住宅ローン返済を拒否する動きが相次ぐなど住宅市場が混乱しており、不動産市場は依然として回復の兆しが見えていません。

今後の展開 中国景気は当面停滞が続く

- 8月の主要経済指標は市場予想をやや上回りましたが、不動産市場は引き続き低迷しており、中国景気は当面停滞が続くそうです。中国政府によるゼロコロナ政策の堅持や不動産への流動性規制は、習近平国家主席が強くコミットしている政策とみられるため、10月の党大会後も大幅な修正は難しいと考えられます。今後もこれらの要因が企業や家計のセンチメントの改善を妨げ、中国景気の足かせとなりそうです。弊社は、2022年の経済成長率見通しを+2.9%に下方修正しました。

【鉱工業生産、小売売上高、固定資産投資】



(注1) データは2019年4月~2022年8月。
(注2) 固定資産投資は年初来の前年同期比。鉱工業生産、小売売上高は前年同月比（各年2月は年初来の前年同期比）。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【中国の新築住宅価格】



(注) データは2020年1月~2022年8月。前月比。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ここもチェック! 2022年8月16日 中国の7月の主要経済指標は予想を下回る
2022年7月19日 中国の4-6月期GDPはゼロ成長

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。